

トップの系譜



橋氏

三井住友ファイナンス & リース

成長へ事業領域拡大に挑む

ギンなど事業ドメインを広げてきた。24年3月期の経常利益は149.7億円、営業資産は8兆円超。でも10年で2倍程度に増えた。

三井住友ファイナンスグループ(SMFG)と住友商事の2社が共同で出資するSMFLは07年に発足して以降、社長を住友銀行(現三井住友銀行)出身者、会長を主に住友商事の出身者が務めている。

三井住友リース社長を務めていた石田浩二氏が07年10月にSMFL社長に就任。その後、川村嘉則氏、橋正喜氏と2代続けて三井住友銀行副頭取経験者が社長に就いた。

SMFLは26年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画でリース会社から「幅広い金融機能を持つ事業会社」になることを掲げ、事業転換

氏名	就任年齢	在任期間	主な経歴
石田浩二氏	60	2007年11年	三井住友銀行経営企画部副社長、三井住友ファイナンス(現三井住友ファイナンス&リース)社長
川村嘉則氏	59	11年17年	三井住友銀行投資銀行営業部長、企業金融部門副頭取
橋正喜氏	60	17年1	三井住友銀行米州本部長、ホールセール部門副頭取

に橋氏は今後のSMFLの社長に就いて「成長に向けてチャレンジできる人が求められる」と人物像を上げる。SMFLの社長には2代続けて三井住友銀行副頭取経験者が就いているが、18年に株主構成を変更したことで、今後の人事の慣習も変わる可能性がある。

銀行法の業務範囲規制の適用の緩和をにらみ株主構成を変更。SMFGが出資比率を引き下げて住友商事との折半出資に切り替えた。「変化が激しい業界なので(存続)事業が変わらなければ(他社から)取り残されてしまう」(橋)なるのではないか?と入念に検討。その上で(出身)関係なく、当社で頑張つて実績を上げてきた人がトップになる時代に転換するの考えを示唆している。